

# 8月号 ごあいさつ 先行き不透明な時代だからこそ！ モノ、心、頭の3つの「5S」の徹底を!!

株式会社 山西 あすなる会顧問  
代表取締役社長 西垣 洋一

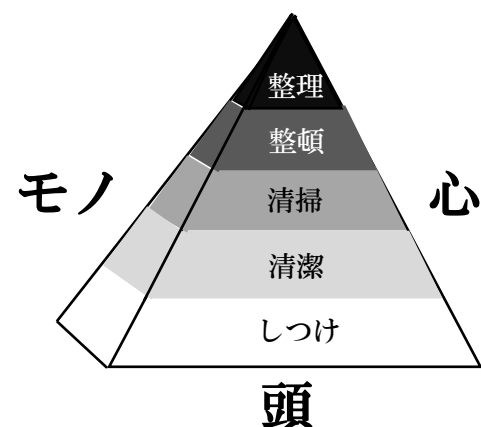
世界経済の先行きは、極めて不透明であり近年稀にみるほどに不確実性が渦巻いています。コロナ禍、ウッドショック、ロシアによるウクライナ侵攻と今までの常識、秩序が覆るような出来事が起こり、その影響は世界中に多方面に及んでいます。日本経済においても、第7波が始まりなお収束をみせず再拡大しているコロナ禍に加え、ウクライナ情勢に伴う地政学的リスク、止まらない円安進行、貿易赤字などますます先行きの不透明感が漂っています。

## 「モノ、心、頭の「5S」を活用すればものごとは自然に流れる!!」

先行き不透明な時代には、“仕事の基本”に立ち返ることが大切です。その中でも、整理・整頓・清掃・清潔・しつけの「5S」の徹底が重要となります。「5S」には、物質的側面である“モノ”の「5S」と精神的側面である“心”と“頭”の物心両面での「5S」が存在します。この3つの「5S」を徹底することにより、ムダがどんどん洗い出され、やるべき事にすぐ着手することができ、的確な段取りに落とし込むことができます。

- モノの「5S」： 不要でムダな資材、モノを探すムダな時間、不測なトラブルなどの排除。
- 心の「5S」： やるべきことを明確化。つねに新鮮でリフレッシュした感覚を保つ。
- 頭の「5S」： 志や理念、戦略の明確化。戦略を実現するための戦術の整理。

モノと心、2面からの「5S」を組み合わせることで、やるべきこと、やらなければならないことが一目瞭然となり、ムダが洗い出された強固なピラミッドが出来上がります。そしてモノと心の「5S」がスムーズな流れをつくるための仕組みだとすれば、それらをバックアップするのが頭の「5S」となります。頭の「5S」とは志や理念にしたがって行動するための仕組みであり、この志や理念を自分の中で十分に整理し、納得できるようになれば、仕事を通じて具体的に実践していくことが可能となります。つまり、この志・理念の「見える化」が自分のものにできればトラブルや困難な問題に直面しても常に行動できる様になります。(右図参照)



『モノ、心、頭の「5S」を活用すれば、ものごとは自然に流れる』

モノの「5S」と心の「5S」を  
組み合わせればムダが洗い出された  
強固なピラミッドが出来上がる!!

モノと心の「5S」をバックアップする  
もうひとつのピラミッドの側面は  
頭の「5S」である!!

当社には「5S+2S」という基本方針があります。整理・整頓・清掃・清潔・しつけに習慣(良い習慣づくり)、志気(志を持って行動する)の「2S」を加え「5S+2S」とし、仕事の基本の一環として掲げています。環境変化が著しい昨今、モノの「5S」は当然のことながら、心の「5S」を持ってつねに新鮮でリフレッシュな感覚を保ち、迅速かつタイムリーな情報提供に努めると共に、志や理念、戦略を明確化するための頭の「5S」を徹底し、環境変化に適応できる「時流適応」企業として、皆様とともに今後も歩んで参る所存です。

2022年8月吉日

モノ、心、頭の「5S」とは何か？ 5Sの徹底は「見える化」の前提である

株式会社 山西 基本方針「仕事の基本 5S+2S」



5S	頭の「5S」は仕事の前提	モノの「5S」	心の「5S」
整理	志や理念を持つこと、トラブルや困難な課題にぶつかってもそれによって頭が整理されていれば十分な対応がとれる。	不要物で埋まった乱雑なスペースは非効率のもと。とくに書類や資料などは誰でも共有できなければ意味がない。	集中して手がけなければならぬことに向かえるように、プライベートな部分にも気を配る。
整頓	志や理念がしっかりと自分のものになっていること。必要になればムダなくゴールに近づくための知恵を働かすことができる。	モノを探す動作はなんの付加価値も生まない。必要などきに必要モノがすぐに取り出せるのは仕事の大前提。	やらなければならないことや仕事が多岐あるのは当たり前。自分のなかでそれらの内容を整頓したい。
清掃	戦略を実現するための戦術を考え実践すること、当事者として創意工夫をもって問題に挑戦できなければならない。	埃やゴミに弱いのはIT機器だけではない。ムダな作業の発生元を防ぐ意味でも清掃の徹底を。	気分転換などで心を清掃し、つねに新鮮でリフレッシュした感覚を保つよう努力する。
清潔	戦略を具体的な形で明確化できること。問題の当事者となって行動するための必須事項。	生活スペースや職場の清潔さは、それだけで来客に安心感を与える。清潔なら汚すのも憚られるから、整理・整頓の手間も省ける。	自ら後ろめたいところのない清潔で汚れない気持ちを持つよう努める。
しつけ	志・目的を実現するために行動し続けること。日々継続してカイゼンし続けるために上の4Sをやり抜くことが大切。	ここまでの4Sを徹底継続するための仕掛けがしつけ。ルール遵守に加え、他人への気配りもしつけから生まれる。	自分だけが良ければいいという利己的な感覚を捨て、他人にも気を配ってスムーズな関係を築く。